

APIガイドラインの整備

背景

- 「クレジットカードデータに係るAPIガイドライン」が策定された
- 利用者、FinTech企業等におけるAPI利用利便性を向上させるためには、業界横断的な整備も求められる
- インターネット、APIを活用することで、キャッシュレス決済に係るコストの削減可能性を検討する

目的

- 昨年度の参照系に加え、更新系の整備、アクワイアラ向け、加盟店向けのAPI整備等、範囲の拡大も考えられる
- 実際にAPIを利用するためには、契約関連部分の整備も必要となる

実施事項

- クレジットカードデータに関し、APIの標準化を行う範囲（今年度分）の特定
- その他の業態（銀行、証券等）との連携の必要性検討
- 契約等、ガイドライン以外の部分における標準整備の必要性検討

想定成果物

- 「APIガイドライン 改訂版」（クレジットカード編）

想定スケジュール

